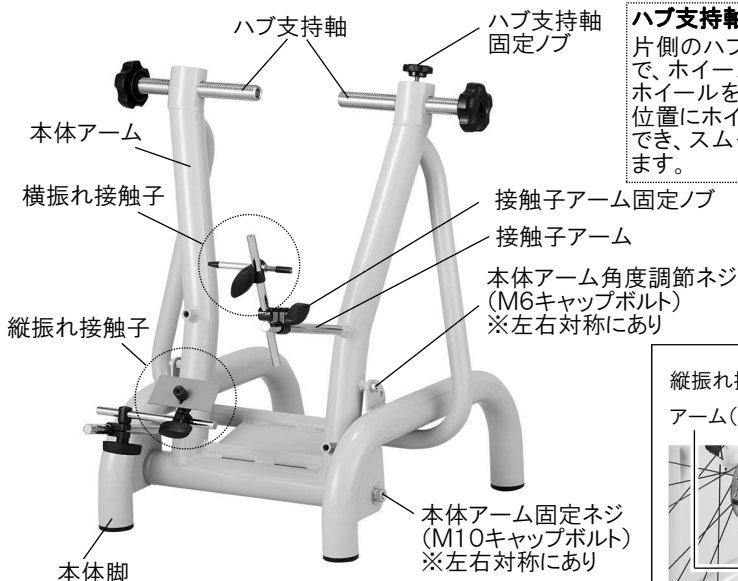


C-300 振取台

このたびは ホーザン C-300 振取台 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと大切に保管してください。

各部の名称と入組明細



Hub support axis lock knobについて

片側のHub支持軸を固定することで、ホイールの調整中、本器からホイールを取り外しても、再び同じ位置にホイールを取り付けることができ、スムーズな作業を可能にします。

付属品

縦振れ接触子(予備) 1枚
アーム(長) 1本



ディスクローターの歪み検査、小径ホイールの横振れ検査に使用します。

仕様

適応ホイールサイズ	12"~29" (200~650mm)
適応Hub種類	クイックリリース(F:9mm、R:10mm) 10mmまでのネジタイプのHub軸
適応Hub幅	50~200mm(オーバーロックナット寸法)
外形寸法	460(W)×550(H)×440(D)mm
重量	9.6kg

別売部品により、スルーアクスルタイプや太いネジ棒タイプにも対応します(詳しくは6ページ参照)。

注意文の警告マークについて

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

⚠警告 …重傷をともなう重大事故の発生を想定してのご注意

⚠注意 …傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、**⚠注意**として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねく恐れがあります。正しく安全にご使用ください。

ご使用上の注意

⚠ 注意

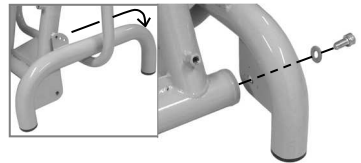
1. 本器を不安定な場所に設置しないでください。
2. 各部の取り付けベルト、取り付けネジが適切に締結されていることを確認してから作業してください。
3. ハブ支持軸を必要以上に締め込まないでください。ハブを破損する恐れがあります。
4. 改造しないでください。
5. 本器に割れ、欠け、磨耗、変形などが認められる場合は使用しないでください。

準備

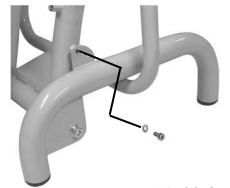
組み立て

組み立てに必要な工具
六角レンチ(5mm、8mm)

- 1 左右の本体脚を本体アームの間に通して取り付けます。固定ネジ(M10キャップボルト)へ平ワッシャーを通し、締め付けてください。



- 2 本体アーム角度調節ネジ(M6キャップボルト)へ平ワッシャーを通し、任意の位置(5°刻みで3段階選択できます)で固定します。



- 3 左右のハブ支持軸を取り付けます。

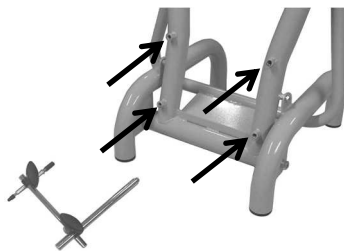
- 4 ハブ支持軸固定ノブは左右どちらかに取り付けることができます。
ハブ支持軸の先端が本体アームのメネジから出ていることを確認し、本体アーム上部のメネジに樹脂製のブッシュを挿入し、上からノブをねじ込みます。



横振れ接触子を取り付ける側に固定ノブを揃えておくと指針位置の変化が無く、作業性が高くなります。

準備

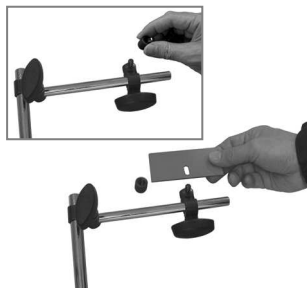
- 5** 接触子アームを取り付けます。
取り付け位置は本体アームに4カ所選択できます。
20”以下のホイールやディスクローターの検査は上部左右2カ所、それ以上のサイズは下部左右2カ所をおすすめします。
作業内容や作業姿勢に合った取り付け位置をお選びください。



- 6** 接触子アームの先端パーツに縦振れ・横振れそれぞれの接触子を取り付けます。

縦振れ接触子は樹脂板を使用します。

接触子アームの先についている接触子ホルダーのつまみを反時計方向に回して取り外し、オネジに接触子の樹脂板の長円形の穴を通し、再度つまみを取り付け固定します。

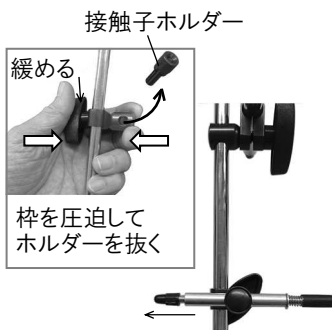


横振れ接触子は先端に樹脂キャップのついた軸状のものを使用します。

接触子アームの先についている接触子ホルダーを取り外します。先端側の固定ノブを緩めると、ホルダーを取り外しできます。

ホルダーの軸が挿入されていた場所に、横振れ接触子を樹脂キャップ側から挿入し、ノブを締め付けて任意の位置で固定します。

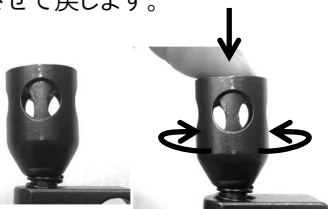
取り外したホルダーは、ダイヤルゲージを取り付けるときなどに必要ですから大切に保管ください。



軸の挿入部はバネが効いているため、そのままでは軸は入りません。固定ノブを緩め、写真のように外枠を押し込みながら、軸を挿入してください。



挿入口がふさがってしまった場合は、内側の部品を押さえた状態で外枠のみを回転させて戻します。



ご使用方法

- 1** 本器を設置場所に置き、4カ所の脚部の接地にがたつきがなければ測定を実施します。

がたつきがある場合は、本体アーム固定ネジと本体アーム角度調節ネジ合計4本を少し緩め、がたつきがなくなるまで組み付けを調整し、再度締め付けます。

設置場所を変え、がたつきが出たときは上記操作を再度実施してください。



- 2** ホイールを片手で保持しながら、ハブ支持軸を時計方向に回転させ左右のハブ支持軸でホイールのハブを固定します。ホイールが回転できる程度に軽く締め付けてください。

必要に応じ、ハブ支持軸固定ノブ(1ページ参照)を使用してください。

ホイールを載せる際に、既に取り付けた接触子が干渉する場合は一旦退けてください。

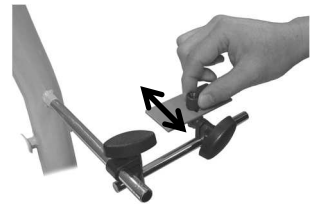


- 3** ホイールが固定されていることを確認し、各接触子の位置をリムに合わせます。

接触子の使い方

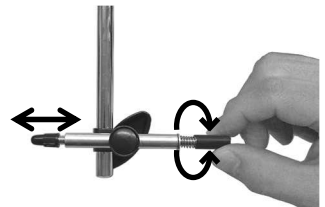
縦振れ接触子

ネジを緩め、前後にスライドさせて微調節が可能です。



横振れ接触子

ツマミを回して突き出し長さを調節することができます。



1本のアームへ縦振れ・横振れの接触子を取り付けることもできます。

手許の作業性に応じて取り付け位置をお選びください。



ご使用方法

ディスクローターの歪み検査

接触子アーム固定ノブを緩めて接触子アームの2段目のアームを抜き取ります。

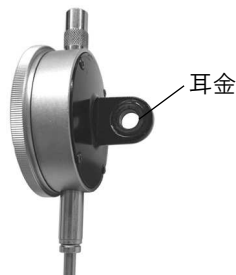
アーム(長)を取り付けます。横振れ接触子を取り付け、ディスクローターの任意の位置に寄せて固定してください。



小径ホイールの横振れ検査用としてもお使いいただけます。

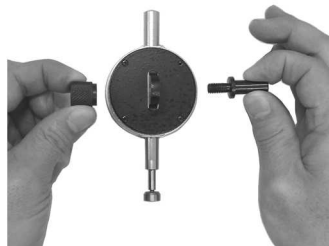
ダイヤルゲージの取り付け

接触子を市販のダイヤルゲージに付け替えれば、振れ幅の数値を読み取りながら振れ取りができます。本器に取り付け可能なダイヤルゲージは、ゲージ裏に取り付け用の耳金がついているタイプに限ります。

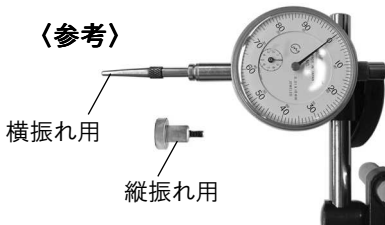


耳金に本器付属の接触子ホルダーを固定します(縦振れ接触子を固定する軸と同じものです)。

縦振れ接触子と同様に付属の固定金具で固定します。取り付けネジはM6です。耳金の穴径にご注意ください。



〈参考〉



使用例



先端には、縦振れ用にはフラット型や平皿形など先端が平たい測定子、横振れ用にはニードル型や球付きなど先端の細い測定子(樹脂製が望ましい)を取り付けるのが適当です。

ご使用方法

接触子が磨耗したときには

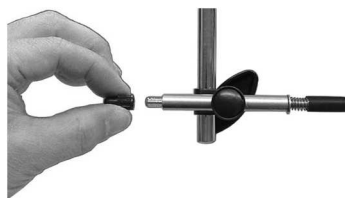
本器の接触子はリムへの傷つきを防ぐために樹脂製を採用しています。

縦振れ接触子は紙やすり等で研磨し、直線を出してください。

横振れ接触子はフレンチバルブ用のバルブキャップに交換してください(強くねじ込むと樹脂ネジを壊しますので軽く固定する位置で止めてください)。

縦振れ接触子は紙やすり等で研磨し、直線を出してください。

横振れ接触子はフレンチバルブ用のバルブキャップに交換してください(強くねじ込むと樹脂ネジを壊しますので軽く固定する位置で止めてください)。



交換部品

C-300-1 横振れ接触子セット



アームと接触子のセット。
左右両側に設置し、リムの歪み検査に。
左右両側に取り付けることで両側からの測定を可能にします。

別売部品

C-301 アクスルハブ用アタッチメント



自転車用スルーアクスル(12~20mm)用のアダプター。クイックリリースタイプにも対応します。スポーツ車を頻繁に整備する場合は取り付けておくと、付け外しの手間がかかりません。

C-302 アクスルハブ用アタッチメント

BMX、MTBに使用されるM14オスネジタイプアクスル軸が固定できます。
適応ハブ軸幅:200mmまで

C-303 アクスルハブ用アタッチメント

モーターサイクル用の最大25mmφまでのハブを固定できます。
適応ハブ幅:最大190mmまで(ハブベアリングの外端面間)
適応リム幅:最大150mmまで

技術的なお問い合わせ

ホーザン テクニカルホットライン

☎ 06-6567-3132 E-mail: th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日（祝日を除く）の10:30～12:00・13:00～17:00】

補修部品については、web上のパーツリストをご覧ください。

通信販売もご利用いただけます。 [ホーザン 通信販売](#) [検索](#)

ホーザン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12
TEL(06)6567-3111 FAX(06)6562-0024